

天気雨

鳴き声は山脈
雫は水たまりに恋して
かたつむり ためいき
雨が止む 生温い重力

足元から上昇気流
煽られてハッとす
運ばれてくる次の雲に
水たまり さらわれた

見届けられて初めて
報われる涙もあって
みっともないって姿を
さらせる幸せもあって

すぐにできる食事をとって
だるくなるお茶を飲む
日差しにつつかれながら眠る
目を開けたまま寝転ぶ

聞き覚えのあるさえずり
心地よく目を覚ます
景気のいい音楽をかけて
鏡の前で踊る

憧れは果てしなくて
届かないものは眩しい
振り払ってきたけど
失くしたものはもうない

どんなに汚くても勇気
優しくない嘘より
心の引っ越しは1人でねっ
君はそれを見ていたの？

君とは二度と会わない
君とは二度と会わない

なんて毎日言ってた気がする..